



自衛隊栃木地方協力本部

2025 FIM MotoGP世界選手権シリーズ 第17戦日本グランプリで広報展！



階級章の展示



災害派遣活動パネルの展示



自衛隊の説明を受ける来場者



迷彩服を着て記念撮影を楽しむ
来場者 (左：広報室長)



ブースを視察する本部長



制服・迷彩服を試着して「敬礼！」
(中央：広報室長)



タペストリーの前で記念撮影を楽しむ



陸海空の迷彩服をそれぞれ試着

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 松田 桃子・陸佐）は9月28日（日）、モビリティリゾートもてぎ（芳賀郡茂木町）で開催されたモーターサイクルレースの最高峰「2025 FIM MotoGP世界選手権シリーズ第17戦」において、広報展を行った。

広報展では、栃木地本キャラクターの顔出しパネルや防衛記念章、陸海空自衛隊の階級章、災害派遣パネルなどの展示及び制服試着コーナーを設け、レース前から多くの来場者が訪れていた。特に装備品の写真のついた大きなタペストリーの前での記念撮影が人気を博し、学生グループや家族連れなどの団体では、誰がどの種類の迷彩服を試着するのか、じゃんけんをしながら決めるなど楽しそうな姿が印象的であった。また、「自衛隊の話が聞けてとてもよかった！いろいろなイベントにも参加してみたいです！」と、興味を持って来てくれた。

栃木地本は「今後も各種イベントを通じ自衛隊の魅力を積極的にアピールして、自衛隊への理解の推進を図っていく」としている。